



まちなか再生

この建物はエビス屋百貨店・高木屋として衣類品から下駄・履き物、化粧品販売を行う店舗として使われてきました。昭和7年に新築されてから、ながきにわたり地域の方に愛されてきました。しかし、店舗は新天地へ移転し、空き店舗として残されていました。さらし屋通りは、同様に空き店舗が目立ち、近年、衰退が進むエリアです。そこで、(株)AlbaLinkが本物件を取得し、まちなか再生の拠点としてサテライトオフィスを整備することになりました。

施設コンセプト

EBISは“Entrepreneurs Businesses Integrate Space”の略で「起業家の事業を集約する空間」を意味します。(株)AlbaLinkは空き家をはじめとする不動産物件の情報を収集し、それを不動産事業者や地域の起業家と共有し、新規事業の開拓、空き家・まちなか再生、まちづくりについて取り組むことを目指します。また、EBISはこの空き店舗のかつての屋号「えびす屋」になぞらえています。

計画概要

本工事では1階の一部を改修し、サテライトオフィスとイベントスペースを新設します。築92年の建物がかつ魅力大切にしつつ、現代に求められる機能更新を行います。

A. ポーチ：

地域に開かれた休憩・交流スペースを整備します。

B. インフォメーション：

不動産情報や空き家活用の事例などの情報発信拠点を整備します。

C. オフィス：

サテライトオフィスを整備します。

D. ミーティングスペース：

空き家活用や街並み再生、新規事業開拓を創造する拠点を整備します。

E. イベントスペース：

地域に開かれたイベントスペースを整備します。街並み再生の拠点を目指します。

